

第2部

ジャッソ

日本学生支援機構 (JASSO)
の奨学金の概要について

申込み関係書類(封筒の内容物)はこの5種です。

2022年度に大学・短期大学・専修学校
奨学金を希望する皆さんへ

2022年度に大学・短期大学・専修学校
奨学金を希望する皆さんへ

「貸与奨学金案内」「給付奨学金案内」を読んで奨学生予約採用の
申込みを希望する皆さんへ

給付奨学

貸与奨学

申込みのてびき

[令和4年度進学者用 大学等予約採用]

「マイナンバー提出書」のセット

(内容)・「マイナンバー提出書」
・「【重要】マイナンバー(個人番号)の提出方法」
・「提出用封筒」

スカラネット(インターネット)で奨学金を申し込んだ後、「マイナンバー提出書」により
マイナンバーを提出(郵送)してください。

① スカラネット(インターネット)入力

- この中の「マイナンバー提出書」に印字されている「申込ID」と「パスワード」を
使って、スカラネットにより、奨学金を申し込んでください。
- 学校から交付される「識別番号(ユーザID・パスワード)」の入力も必要です。

↓

② マイナンバーの提出(郵送)

- 奨学金申込者本人(生徒・学生)と生計維持者のマイナンバーを提出してください。
- 同封されている「提出用封筒」(水色)を使用して、郵便局の窓口から、簡易書留に
より郵送してください。

マイナンバーの
提出期限

スカラネットで奨学金を申し込んだ後
≪1週間以内≫

日本学生支援機構
給付奨学金
貸与奨学金
早わかりガイド
予約採用
2022年度進学予定の皆さんへ

日本学生支援機構(JASSO)の奨学金は国
が実施しており、原則返還不要の給付奨学
金と卒業後返還する貸与奨学金があります。
このガイドで、それぞれの奨学金の概要を
説明します。

独立行政法人
日本学生支援機構
Japan Student Services Organization
JASSO <https://www.jasso.go.jp/>

日本学生支援機構

給付 貸与 奨学金 早わかりガイド

予約採用

2022年度進学予定の皆さんへ

日本学生支援機構（JASSO）の奨学金は国
が実施しており、原則返還不要の給付奨学
金と卒業後返還する貸与奨学金があります。
このガイドで、それぞれの奨学金の概要を
説明します。



この冊子を使って
奨学金の種類・内容
などを説明します。

奨学金の申込みから奨学生に採用されるまで（予約採用）

進学前

スカラネットといいます

本日

春～ 高等学校等から申込関係書類を受け取り



春～夏 申込み手続き

1学期中間テスト中に実施予定
各自スマホやPCで入力も可能

①インターネットで申込み

②マイナンバーを JASSO に直接提出（郵送）

スカラネット申込み後、1週間以内に各自で

③学校に申込書類を提出

6月14日(月)締切厳守

申込み期限については、必ず学校に確認してください。

秋～冬「採用候補者決定通知」の交付

進学後

春～ 「進学届」 提出

- ① 「採用候補者決定通知」を進学先の学校に提出
- ② インターネットで進学届を JASSO に提出

奨学生として採用・通知

奨学金の振込開始

もし、成績等の基準により希望する奨学金が受けられなかったとしても、**入学後再度申し込み**の機会があります。**基準が予約の際と異なる**こともあるらしいので、その場合は再度申し込みを検討してください。

提出しなければキャンセルとなる
金額や返還方法等も
このタイミングで変更可能



給付
= もらえる

貸与
= 借りる

奨学金にはどんな種類があるの？

原則として返さなくていい**給付奨学金**と、返す必要がある**貸与奨学金**があります。

奨学金の額は、あなたの進学先や通学形態(自宅・自宅外)など様々な条件で異なります。

給付奨学金の金額は6ページ、貸与奨学金の金額は8ページを参照してください。

奨学金の種類		返還の必要性	利子	振込頻度
給付奨学金		返還不要	—	毎月1回
貸与奨学金	第一種奨学金	返還が必要	利子なし	毎月1回
	第二種奨学金		利子あり	毎月1回
	入学時特別増額貸与奨学金			初回振込時に1回限り

奨学金を利用できる進学先は？

日本国内の大学・短期大学・専修学校（専門課程）が対象

「〇〇専門学校」という校名でも「専修学校」として認可されていない場合があるので注意！

学校の種別（課程）	給付奨学金	貸与奨学金
大学（学部）・短期大学	国又は地方公共団体より給付奨学金の対象となることの確認を受けた学校が対象です。下記URLをご参照ください。 （※2）	対象です
専修学校（専門課程）		対象です（※3） ※JASSOの奨学金の対象ではない学校・学科もあります。

※1 高等専門学校の第4学年に編入学する場合も対象です。（給付奨学金、貸与奨学金とも）

※2 給付奨学金の対象となる確認を受けた学校の一覧（文部科学省ホームページ）

https://www.mext.go.jp/kyufu/support_tg.htm

※3 貸与奨学金の専修学校（専門課程）の対象となる学校の一覧（機構ホームページ）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/kijun/yoyaku/senshu/gakkalist.html>



必ずホームページを見て、自分の希望校が対象となっているか調べてください。

給付奨学金とは？

採用の基準は？

学力・家計（収入・資産）の両方の基準を満たす人が対象になります。

学力基準 次の①・②のいずれかを満たす人

- ① 高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均値が、5段階評価で**3.5以上**
- ② ①に該当しない場合、将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における**学修意欲を有すること**

家計基準 次の①・②の両方を満たす人

- ① **収入基準**・・・申込者（生徒）・生計維持者（父母等）の所得等に基づき**住民税非課税又はそれに準ずる世帯と認められること**（次ページの目安参照）
- ② **資産基準**・・・申込者（生徒）・生計維持者（父母）の資産の合計が一定額未満（※）

※ 生計維持者が1人の場合：1,250万円、生計維持者が2人の場合：2,000万円

1~2年の評定平均値を担当の先生に確認してください。
3.5未満でも学修意欲があるなら採用されます。
ただし、進学後も適格審査があり成績不良の場合は奨学金が停止または廃止されます。

P.7上部に収入の目安が載っていますので、**またご確認ください**

いくら支給されるの？

年額でⅠ約46万、Ⅱ約31万、Ⅲ約15万

奨学金の支給額は、世帯の所得に基づいてⅠ～Ⅲの区分に分かれます。

さらに、あなたの進学先、通学形態によって定められている下表の金額（月額）が、原則毎月1回振り込まれます。

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 (満額)	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円
第Ⅱ区分 (満額の2/3)	19,500円	44,500円	25,600円	50,600円
第Ⅲ区分 (満額の1/3)	9,800円	22,300円	12,800円	25,300円

- ※ 生活保護世帯で生計維持者と同居する人・児童養護施設等から通学する人、高等専門学校4～5年生、通信教育課程の人は、上表の金額と異なります。
- ※ 「自宅外通学」を選択する場合でも初めは自宅通学の月額が振り込まれます。「自宅外通学」であることの証明書類を提出する必要があり、不備のない提出が確認できた後、自宅外通学の月額が適用されます。

貸与奨学金と何が違うの？

○原則として返還不要な奨学金です。

ただし、給付奨学金は、意欲と能力のある学生に勉学に励んでもらうために支給するものですので、学業成績が基準を下回る場合には、奨学金の支給が打ち切られることがあります。

○定期的に在籍報告を行う必要があります。

給付奨学生が学校に在籍していることを確認するため、年に数回、在籍報告の手続きを行います。
手続きが行われない場合は、給付奨学金の振込が停止されます。

○毎年支給額の見直しがあります。

進学後も、毎年秋に家計状況を確認し、支給額の区分が見直されます。（支給の対象外となることもあります。）

○進学先に条件があります。

給付奨学金を利用できる進学先は、国または地方公共団体より給付奨学金の対象となることの確認を受けた学校が対象です。

給付奨学金の対象となる確認を受けた学校の一覧（文部科学省ホームページ）



○授業料等の減免が受けられます。

給付奨学金の支給を受ける奨学生は、授業料・入学金の減免も同時に受けることができます。
別途、進学先の学校で手続きが必要ですので、忘れずに進学先の学校に問い合わせてください。

貸与奨学金とは？

採用の基準は？

第一種＝無利子　　第二種＝有利子
卒業後、毎月返還する(お金を返す)ことになります。

学力・家計の両方の基準を満たす人が対象になります。

1～2年の評定平均
(通知表の
全科目の平均)

学力基準

第一種 高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均値が5段階評価で3.5以上

第二種 高等学校等における申込時までの全履修科目の学習成績が平均水準以上である等

※ 経済的に極めて困難な方には、第一種奨学金の学力基準の緩和があります (次ページ参照)。

家計基準

生計維持者 (父母) の年収が収入基準以下である (次ページの目安参照)

いくら借りられるの？

あなたの進学先、通学形態によって定められている下表の金額から選択し、原則毎月1回、卒業まで振り込まれます。

進学先		大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
		国公立		私立		国公立		私立	
		自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第一種 奨学金	最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
	最高月額 以外の月額				50,000円				50,000円
			40,000円	40,000円	40,000円		40,000円	40,000円	40,000円
			30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
		20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	
第二種奨学金		20,000円～120,000円（10,000円単位）							
入学時特別増額貸与奨学金		100,000円～500,000円（100,000円単位）							

- ※ 「最高月額以外の月額」は10,000円単位で選択できます。
- ※ **給付奨学金と併せて第一種奨学金を利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が調整**されます。
- ※ 第一種奨学金の「最高月額」は併用貸与の家計基準（次ページ参照）を満たしている場合に選択できます。
- ※ 入学時特別増額貸与奨学金のみの単独利用はできません。（入学後、初回1回のみ奨学金です）

奨学金が振り込まれるのは来年4月以降ですが、「入学手続きで11月に100万円必要！教育ローンを利用しよう」という場合

「入学時特別増額」の採用決定通知があれば、「国の教育ローン」の融資が受けられない場合に、この50万円を担保として「労働金庫」(ろうきん)のつなぎ融資を申し込むことができます。

入学時特別増額貸与奨学金(一時金)50万の申し込みをお勧めします。
詳細は貸与案内のp.22～23

給付奨学金と何が違うの？

○返す必要のある奨学金です。

貸与奨学金は、「もらう」ものではなくあなた自身が「借りる」ものです。
あなた本人が、将来、返還していく義務を負います。

○保証を付ける必要があります。

卒業後、返還することとなる貸与奨学金を利用する場合、保証を付ける必要があります。
機関保証又は人的保証（10ページ参照）のいずれかを選択する必要があります。

○貸与中も月額を変更できます。

貸与を受けている途中で月額を変更することもできます。
返す時の負担などを考え、学校生活に必要な適切な金額を選択しましょう。
(第一種奨学金は、通学形態や併せて給付奨学金を利用している等の状況により、一部制限がある場合があります。)

貸与奨学金の返還

いつからいくらずつ返すの？

貸与が終わって（卒業して）7か月目（**3月卒業の場合、同年10月**）から口座引き落としにより返還します。

毎月の返還額・返還期間は、選択した返還方式等により異なります。

所得が多ければ毎月の返済額が高くなり、返済期間が短くなる。

所得が少なければ毎月の返済額が低くなり、無理なく返済が可能。



第一種奨学金のみ選択できます。

毎月の返還額は、前年の所得に連動して定まり、毎年見直します。

返還期間は毎月の返還額により決まります。



所得連動返還方式を選択した人以外が対象です。

貸与総額（いくら借りたか）によって返還期間が定まり（最長20年）、

返還期間によって毎月の返還額が決まります。

所得の多い少ないに関係なく、一定の金額を返済していく。返済の計画は立てやすい。

保証を付ける必要があるの？

進学後に「進学届」を入力するとき変更できます

貸与奨学金には次のどちらかの保証を付ける必要があります。

機関保証

保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）の連帯保証を受けます。 **が必須**

保証料の支払いが必要となります（毎月振込む奨学金から天引きされます）。

所得連動返還方式の場合「機関保証」

人的保証

条件に合う連帯保証人（父又は母）、保証人（おじ又はおば等）を依頼し、その人による保証を受けます。連帯保証人は、奨学金の返還について本人と同等の責任を負います。

機関保証ににして返済できなかった場合は、一旦保証機関が返済するが、借りた奨学生は保証機関に返済義務が生じます

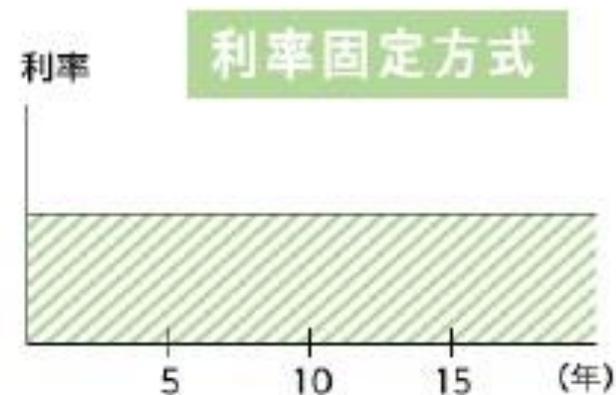
利子はどれくらいなの？

第二種奨学金・入学時特別増額貸与奨学金の利子は、申込時に選択した「**利率の算定方法**」により、貸与が終わるときに決定します。

利率**固定**方式

貸与が終わった時に決定した利率が、返還完了まで適用されます。

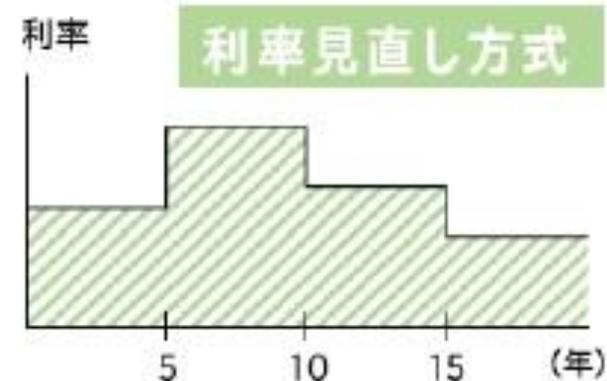
(参考) 令和3年1月に貸与が終わった人の利率は、年0.233%です。



利率**見直し**方式

貸与が終わった時に決定した利率を、おおむね5年ごとに見直します。

(参考) 令和3年1月に貸与が終わった人の利率は、年0.002%です。



返還が難しい場合はどうしたらいいの？

返還中に、病気や失業等で返還が難しくなった人のための救済制度があります。

※ ただし、収入等の基準を満たした場合に限ります。

減額返還

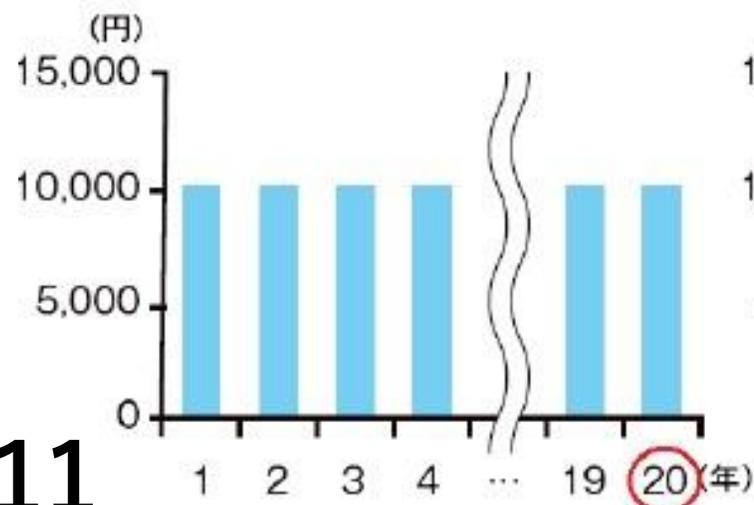
一定期間、毎月の返還額を1/2 (1/3) に減らすことができます。その分返還期間は長くなりますが、返還予定総額は変わりません (利子は増えません)。

返還期限猶予

一定期間、毎月の返還を先送りにすることができます。その分返還終了が遅くなりますが、返還予定総額は変わりません (利子は増えません)。

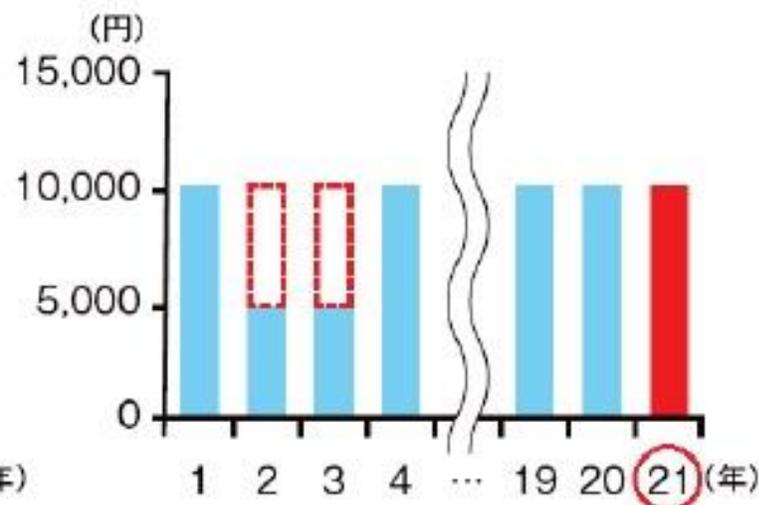
当初の約束

(毎月1万円ずつ20年間で返還)



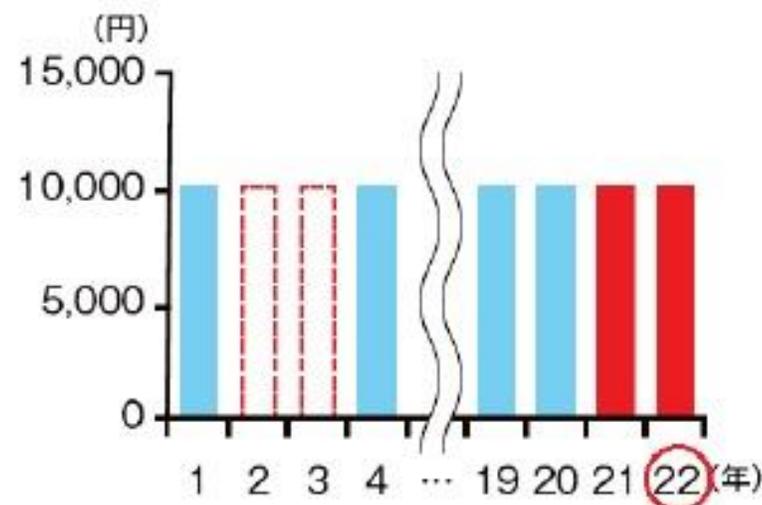
減額返還を利用した場合

(2年目から2年間利用)



返還期限猶予を利用した場合

(2年目から2年間利用)



A 「進学資金シミュレーター」を使えば、どの奨学金の対象になるかシミュレーションができます。
こちらを使って確認してみましょう！



<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>



P.3に自分がどの奨学金の対象になるか、毎月いくら借りたら返済はどうかなど、シミュレーションをするためのQRコードが載っています。どうぞご利用ください。

A. 「奨学金貸与・返還シミュレーター」を使えば、奨学金の種類、貸与月額、利率などさまざまな条件で、将来の返還額や返還回数をシミュレーションすることができます。
申込みの前に必ず試算してから計画を立てましょう。

